

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ冒険4

国立市立国立第七小学校

平成28年10月6日 NO.53 (353)

オー君 「モンタ博士！校庭のコスモスがきれいですね。みんなでてくてくしたいな。」

モンタ博士 「そうだね。みんなで育てたんだもんね。みんなで校庭をてくてくしよう。」

花ちゃん 「そうしましょう。『てくてくの秋』ですね。ところで、モンタ博士は、あちこちてくてくしていると思いますが、一番てくてくしたのは、どこの山ですか。」

モンタ博士 「そうだね。むずかしいな。一番てくてくした山といえば、やっぱり高尾山かな。近くにあるし、自然の宝庫だし、小さい時からよく行ったね。」

オー君 「高尾山といえば、3・4年生が秋の遠足で行きますね。」

花ちゃん 「でも、高尾山って、よく聞くけど、どんな山なんですか。」

モンタ博士 「そうか。それでは、これから、『高尾山てくてく』として、いろいろと勉強していこう。3・4年生は、行く前にしっかりと読んで10倍楽しもう。」

オー君 「モンタ博士！高尾山って、どんな山なんですか。」

モンタ博士 「まず、世界で一番登山者が多い山なんだ。1年間で300万人も登るんだ。」

花ちゃん 「へえーすごいんですね。モンタ博士も何回も登ったのですか。」

モンタ博士 「そうだね。小学生のころから登っているよ。植物の調査とかも合わせると、100回・いや200回以上かも知れないんだ。」

オー君 「何でそんなに登るのですか。」

モンタ博士 「そうだね。小学生のころは、友達とお弁当を持ってよく行ったね。モンタ博士は小さいころから、てくてくするのが大好きだったのさ。」

花ちゃん 「へえー。そうだったんですか。」

モンタ博士 「それから、高尾山は、いろいろな植物がたくさんあるので、植物の調査や勉強のためにも何度も登ったんだ。先生になってからも、理科の研修会などでもよく行ったんだよ。いまでもよくてくてくしに行くよ。」

オー君 「へえー。高尾山って、楽しそうな山なんですね。でも、高尾山って、どうして、そんなにたくさんの方が登る山なんですか。」

モンタ博士「そうだね。自然が豊かなで植物や昆虫などの種類が多くて、自然の宝庫だからだね。また、標高が599mとわりと低くて、登るというよりも散歩する感じで登れる山なんだよ。」

花ちゃん「あまり高なくて、登りやすいんですね。」

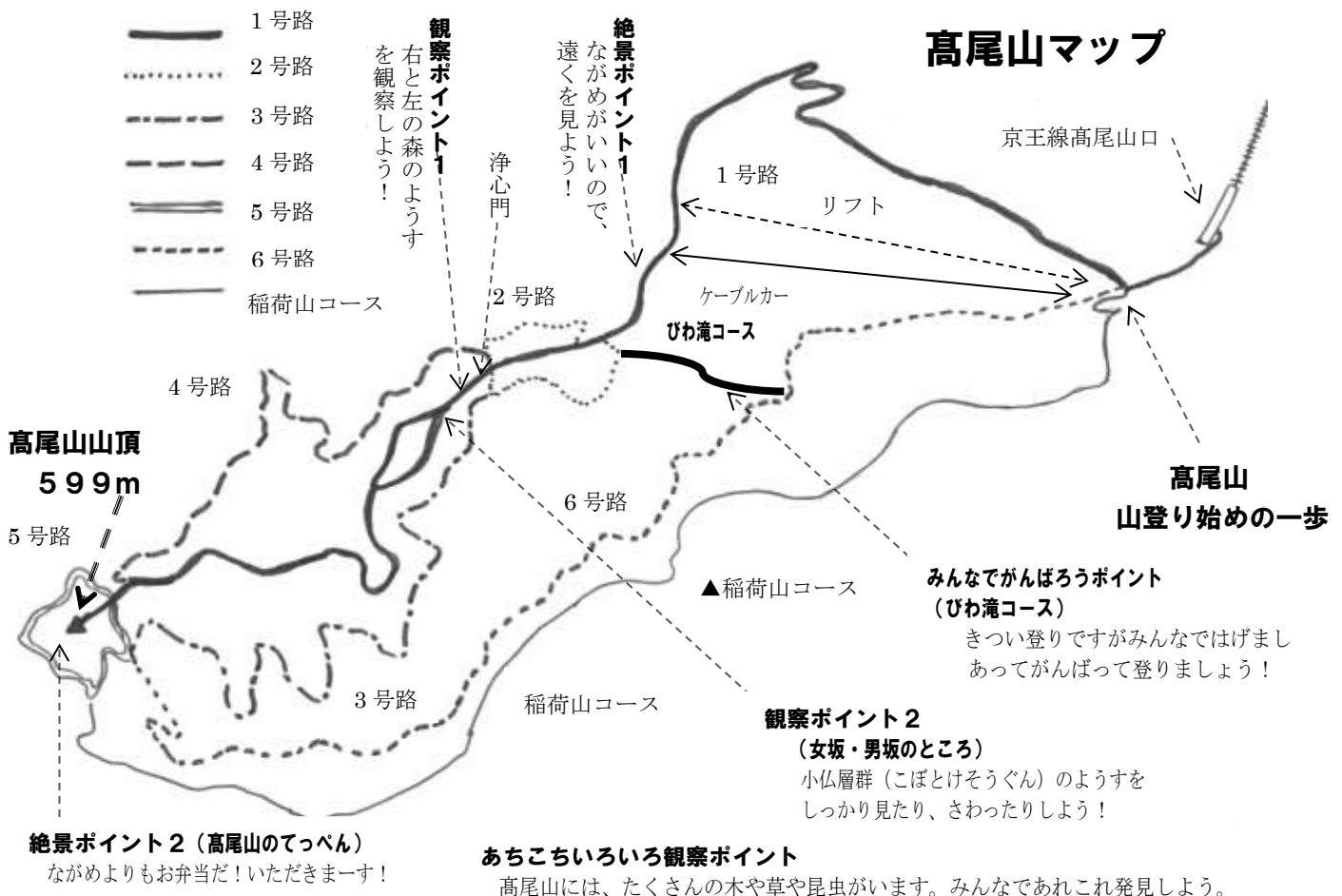
モンタ博士「そうだね。都心からも電車で1時間くらいで、アクセスが楽なんだ。」

オー君「でも、山が低いと、ながめもあまりよくないかも・・・。」

モンタ博士「それは心配ないね。ケーブルで登るだけで、新宿副都心のビルやスカイツリー、横浜のランドマークまでよく見えるんだ。ながめは最高さ。」

花ちゃん「ケーブルもあるんですか。」

モンタ博士「このケーブルは日本一急で、スリル満点さ。それから、高尾山は、『マウント・タカオ』として、世界的にもミシュランの旅行ガイドの『三ツ星』で高く評価され、外国からも絶賛なんだよ。」



高尾山の登山道あれこれ

登りにはケーブルやリフトもあるが、やっぱりてくてく歩くのが最高。登山道は1号路~6号路と稲荷山コースまであり、麓からは表参道の1号路。沢沿いの6号路 (森と水コース)、尾根伝いの稲荷山コースがある。2号路は高尾山の森林コース。3号路は南斜面をだらだらと登る高尾山の植物コース。4号路は北斜面を歩き吊り橋もあり一番お気に入りの森と動物コース。5号路は、頂上周辺をぐるっと歩く人と自然コースと、バラエティーに富み、季節による変化も多彩で何度歩いていても飽きないのが高尾山である。他に蛇籠コースや琵琶瀧コース、さらにイロハの道など有り。